

PMによる研究機関の資金配分の変更及び、研究開発機関の追加について

「革新的研究開発プログラム運用基本方針」（平成 26 年 2 月 14 日総合科学技術会議）に定めるとおり、研究開発機関の選定及び資金の配分は、一義的にプログラム・マネージャー（PM）の権限であるが、PM に関係する機関（PM との利害関係機関）を選定、あるいは、当該機関への研究開発資金の配分を変更（増額）する場合は、「革新的研究開発プログラム運用基本方針取扱要領」（平成 26 年 2 月 27 日 総合科学技術会議革新的研究開発推進会議）に基づき、ImPACT 推進会議による承認が必要（当該機関の必要性、合理性、妥当性を判断）。

1. PMによる研究機関の資金配分の変更について

本件は、下記の 2 名の PM から、PM に関係する機関の研究開発資金の配分変更に関する申請があり、ImPACT 推進会議に対して承認を求めるもの。なお、研究機関への資金配分の変更は、各研究開発プログラムの研究費総額の範囲内で行うもの。

PM	PM に関係する機関数	PM 関係機関と PM との関わり
合田	1	PM 自身が研究担当者として所属
山本	1	PM が過去に所属した機関
合計	2	

・合田 PM：セレンディピティの計画的創出による新価値創造

細胞検索エンジン「セレンディピター」が目指している 10,000 細胞/秒の高速解析処理技術の早期実現のため、要素技術であるプロジェクト 3「細胞計測技術開発」におけるイメージングサイトメーターや蛍光イメージングの高速処理、プロジェクト 5「細胞分取技術」における細胞分取技術の高速化、高精度化を目的として、PM 自身が研究担当者として所属する当該機関について予算配分の見直しを行うもの。

（研究開発資金の配分変更）

研究開発機関	研究開発責任者	推進会議で本機関を承認した日	当初予定研究資金(百万円)	変更後研究資金(百万円)
東京大学 大学院理学系研究科	合田圭介	平成26年10月30日	510	525 (+15)

・山本 PM：量子人工脳を量子ネットワークでつなく高度知識社会基盤の実現

プロジェクト 1「量子人工脳」において、社会実装に向け当初計画したスペックを上回る 10,000 スピン以上の大規模マシンの開発に向け、固体レーザーを含む、光損失の小さなパラメトリック発振器等の開発を行うため、PM が過去に所属しており、長年に渡り関連技術の研究開発で世界をリードしている当該機関について予算配分の見直しを行うもの。

（研究開発資金の配分変更）

研究開発機関	研究開発責任者	推進会議で本機関を承認した日	当初予定研究資金(百万円)	変更後研究資金(百万円)
スタンフォード大学	Martin M.Fejer	平成26年10月2日	70	126 (+56)

2. PMによる研究機関の追加について

下記の2名のPMが研究機関を追加するにあたり、ImPACT推進会議に対して研究機関の確認を求めるもの（PMに関係する機関に該当せず）。

PM	追加予定機関数	うち指名によるもの	PM関係機関とPMとの関わり
伊藤	1(0)	1(0)	-
鈴木	1(0)	1(0)	-
合計	2(0)	2(0)	

() :PM関係機関数

・伊藤 PM：超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現

プロジェクトH「コンセプトカー製作」において、本プログラムで開発された新材料を適所に用いたコンセプトカーの設計・製作や、新材料の自動車以外の用途への展開を進めることを目的として、レース車両設計・製作を含め、カーボンファイバーを中心とする樹脂複合材を使った各種製品の設計及び製造において、日本でトップの実績を持つ当該研究機関を、非公募（指名）により追加するもの。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
H「コンセプトカー製作」	東レ・カーボンマジック株式会社	白波瀬 徹

・鈴木 PM：超高機能構造タンパク質による素材産業革命

プロジェクト1「大規模ゲノム情報を活用した超高機能タンパク質の設計・製造」において、開発した構造タンパク質素材の加工形態を拡大するため、マイクロ湿式紡糸基盤技術の開発及び複合化材料の量産化基盤技術の確立に必要なマイクロ湿式紡糸プロセス技術を有する当該研究機関を、非公募（指名）により追加するもの。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
1「大規模ゲノム情報を活用した超高機能タンパク質の設計・製造」	岡山大学大学院自然科学研究科	小野 努

以 上